

唯一の技術で、唯一の製品で
世の中の安心と安全を支える

日

建産業株式会社は名田町の高台にある敷地1万坪の工場で、20年に渡り水道用の塩ビライニング鋼管を製造、また16年に渡りクレーンの腕部分（ブーム）の加工を行い、現代社会を支えるこれらの製品を各業界のトップメーカーへ納めています。

5年前より新しく建設機械の運転席躯体部分の加工を開始。以来、徐々に取扱う商材を広げ、鋼管や板材のレーザー加工に留まらず、溶接による部材取付けやパイプどうしの面組み等を本格的に開始しています。

「御坊から世界へ」を胸に40名を超える従業員が活躍しています。

新しいことを学び、実践することで
「つくる力」を担う人材へ

戸

上さんは中途採用の入社1年目。入社のかっかけは、求人案内に書かれていた「溶接」という言葉でした。戸上さんの父親は、溶接の仕事をしており、子どものころから溶接が身近にあった戸上さんは「興味を引かれました」と話します。また、まわりの人たちから「日建産業さんは良い会社だよ」との後押しもあり、同社への入社を決意します。現在、製造1課で建設機械の運転席のフレームとなる鋼管のレーザー切断を担当している戸上さん。切断だけでなく、切断した鋼管の仕上げや検査も行うなど、1年目から責任のある仕事を任されています。

今の目標について伺うと、「まずは任されている仕事をしっかりとできるようにすることを目標にしています」と話し、「会社は、ひとりで複数の業務や作業を進められる多能工を必要としているので、それに応えていきたい」と力強く答えます。その一歩として、溶接の試験を受験するという戸上さん。「資格があることでできる仕事が増えるので頑張ります」と笑顔を見せます。

『NIKKENのつくる力は御坊市の高台にある和歌山工場』とまで言われる同工場、その一端を担っているように、日々自身の技術力の向上に努めています。

釣りをするのが
大好きです。

釣りが好きな戸上さん。「バス釣りやエギングが特に面白いです」と話し、「魚へのアプローチの方法を考えて、食いついたときは興奮します」と笑顔を見せます。

また、「僕は自然が好きなので、自然が豊かな御坊・日高は自分に合ってる」と御坊・日高の魅力についても話します。

バイクでのツーリングも好きな戸上さん。「これも父親の影響なんです。父親がバイク好きで自然と自分も好きになりました。いつか親子でツーリングにも行ってみたいですね」と照れながら話してくれました。

御坊で見つけよう

Work-Life Balance

ワークライフバランス

皆さんは、御坊市内にある企業が、そこで働く人があるようなお仕事をされているかご存知ですか？

このコーナーでは、御坊市内にある企業とそこで働くひとを紹介します。

vol.4



日建産業株式会社
(御坊市名田町上野1104-4)

戸上勇希さん／製造1課

